



# 加納高だよめ

No.183 令和6年1月31日  
 発行 岐阜県立加納高等学校  
 PTA会長 中野 弓恵  
 校長 高橋 宗彦  
 企画・編集 総務・運営部

## 「Starting over ～白梅祭を振り返って～」

文化祭推進委員長 3年6組 羽根田 彩幸

今年の白梅祭は制限なしでの開催が4年ぶりということもあり、生徒、そして多くの先生がコロナ前の白梅祭を知らないという状態からのスタートでした。今年のテーマには、過去のくり返しではなく、コロナを経験した私たちにしかできない新たな白梅祭を新たに作り上げていこうという思いが込められています。

準備期間は、分からないことが多く試行錯誤の連続でした。しかし仲間と協力し、作り上げたものや思い出は一生の宝物になったと思います。当日は皆で体育館に集まって行いました。期間中は、体育館には劇を観るために多くの人が集まり、各教室には展示やアトラクションを楽しむ人たちが溢れていました。そして、CLでは、準備期間や当日の写真をしながら白梅祭の思い出を振り返りながら笑い合い、最後の閉会宣言では風船を飛ばす演出を行いました。白梅祭が終わる最後の瞬間まで盛り上がる最高の白梅祭を全校のみんなで作ることができて本当によかったです。



## 白梅祭

9/7(木)・8(金)



### CONTENS

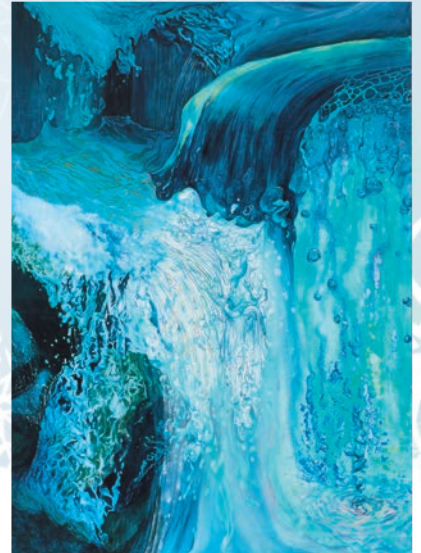
- 白梅祭
- 卒業制作展
- 卒業演奏会
- 音楽科海外研修旅行
- 美術科海外研修旅行
- PTA特別講演会
- スポーツ大会

## 「卒業制作を終えて」

3年美術科 松原 優夏

私は2年生の時、リアルに描くのではなくて抽象的に描いたり、様々な表現をすることに良さを見いだせなかった。しかし、卒展にむけたドローイングや、制作を通してその良さについて改めて気づくことができたと思う。最初は大きい画面に納得のいく絵を描けるかどうか不安だったし、作品を描いている中で何度も失敗をした。しかし、失敗と挑戦を積み重ねていくにつれ、だんだんと自分が表現したいものに近づいていく瞬間がすごく嬉しかった。卒制を通して自分は本当にいろんな表現をしてその良さに気づくことができたと思う。

実際に作品展示をしたときに、改めて、メインは油絵具という同じ画材をベースに使っているはずなのに、同じ専攻内でも、みんなみえ方が違っていったことが1番おもしろかったし、油絵具の魅力を感じられた。卒制の期間はやっぱり大変だったし、失敗してうまくいかない時もあって苦しかったけど今振り返ってみるとすごく充実した時間だったと思うし、あの時が本当の楽しみを見だせていたような気がして良かったなあとと思った。正直、賞がとれなくてすごく悔しかった。結果がすべてじゃないと言われるけどやっぱり悔しかった。けれど、思いのほか自分の心は充実感に満たされていた。友達やお世話になった先生が作品を見に来てくれたことが何よりも嬉しかった。自分の作品とは言っても仲間と共に築き上げてきた作品だし、こういったグループ展を通して美術のよさが実感できて本当によかった。貴重な経験を与えてくださったことに感謝している。



## 2年音楽科 海外研修旅行

11/3(金)~11/11(土)



2年音楽科 佐光 朱音

9日間の研修旅行ではたくさんの学びを得ることが出来ました。私が1番心に残った街はチェコのチェスキークルムロフです。高い所から一望したこの街はお菓子で作られた家が並んでいるように見える凄く美しい街でした。最終日には美術史美術館に訪れました。普段、美術に触れない音楽科にとって不思議で美しい世界が広がっているようで、とても貴重な経験となりました。

また、チェコ、オーストリアに詳しい現地のいろんなガイドさんがその街の事や歴史について楽しく分かりやすく紹介してくださいました。とてもありがたかったですし、より楽しく研修が出来ました。この研修旅行に行けたことに関して保護者、先生に感謝するとともに、現地で経験したことをこれからの学びに活かしていきたいです。



## 3年音楽科 須藤 和花奈

高校生活の集大成である卒業演奏会を終え、達成感を感じています。私は徳山美奈子さん作曲「ムジカ・ナラ〜ピアノのために〜」を演奏しました。奈良が舞台となっており、日本らしい旋律やジャズの要素が含まれたワクワクする場面など、魅力が客席にも伝わる演奏を心がけました。卒業演奏会の最後のクラス合唱では、最高の仲間と最高の合唱が出来てとても幸せでした。卒業後はそれぞれ違う道に進みますがいつまでも仲間でいられたらいいな、と思います。

この3年間でクラスの仲間が頑張る姿に刺激をもらい、先生方にご指導頂き、成長することができました。私のかけがえのない3年間に関わってくださった先生方、仲間、家族、すべての方に感謝の気持ちでいっぱいです。これからも音楽と真摯に向き合い、自分自身を高めていきたいです。



## 11/7(火)~11/14(火) 2年美術科 海外研修旅行

## 「気付き」 2年美術科 島部 瞳子

この研修旅行を通して、私は多くの学びと感動を得た。一番強く感じたのは「現地で本物を見ることの大切さ」であり、授業で習った絵画や彫刻を実際に目にしたとき、想像を遥かに上回る感動が込み上げてきた。その中でも一番感動したのは、やはり教会の天井を見上げた時だろう。教科書の写真では分からない圧倒的なスケール感と美しく輝く装飾、実際にその場へ足を運ばなければ得られない感動がそこにはあった。撮影した教会の写真の後で見返してみたが、あの感動には到底及ぶわけもなく、「現地で本物を見る」ことがいかに大切かを痛切に感じたのである。そして、次に感じたのが「日本の良さ」である。ほんの短い期間であっても日本を離れることで、自分の住んでいる環境を客観的に眺めることができた。これは先生や現地のガイドさんも話されていたことではあるが、今回の研修旅行はイタリアの素晴らしさを知ることは勿論、日本の文化の魅力に改めて気付かされる、良い機会だったように思う。この研修旅行で得た多くの気付きは、今後の作品制作や日々のデッサン、また普段の生活の中にも生きてくると思う。これを自分自身が成長していく糧にしたい。



# PTA 特別講演会



10/11 水

演題 「世界の中心はあなた。あなたが変われば世界が変わる」

講師 クオリティ・ワングループ 代表理事 渡邊 勝也 氏



- 今まで苦痛だと思っていた事は成長痛だったということを知って、これからはもっと色々なことに挑戦してみようと思いました。
- なんとなく毎日通う学校も、すごく特別なことだと実感出来ました。私も、ずっと感謝という言葉だけは大切にしてきました。前でスピーチしてくださった先輩のように自分に自信と勇気を持って今を一生懸命生きたいです。
- 制御しやすい思考と行為を変えることで、見える世界が変化すると聞いて、まずはネガティブな考え方を換えようと思った。失敗や嫌な出来事があると、自分はダメなんだとってしまう。これでは成長にはつながらないと感じたので、次はどうするか、なぜ失敗したのかなど分析して、同じ事を繰り返さないようにする。
- 自分が変わることで周りからの見方、周りへの見方が変わって、今まで持てなかった考え方を持てるから小さな気づきを大切にしていきたい。

10/27 金

演題 「探究し続けることの意義」

講師 赤松 諒一 氏



- アスリートとしての話だけでなく、大学の研究の話やキャリアの話聞いて、すごくためになりました。
- キャリアデザインについて、自分の将来について考えながら今を熱心に取り組むことが大切だとわかった。
- 色々なことに興味を持ち、オンオフの切り替えを意識していこうと思いました。
- 三刀流は私にはできないと思ってしまったけど、赤松さんを見習って、興味を持ったことは恐れずに始めてみて、自分の視野を広げたいと思いました。
- 実践と研究の双方を両立することで、有意義で効率的な活動ができるとわかりましたし、自分の可能性を決めつけないで、なんでも挑戦していくことの大切さを改めて感じました。

# スポーツ大会 10/18 水



2年5組 波村 杏紗

新型コロナウイルスの影響で数年間でできていなかった、三学年合同のスポーツ大会をついに開催することができました。三学年合同で行うのは初めての経験だったので緊張もありましたが、同じクラス、同じ学年の友達だけでなく、部活や委員会に関わりを持った先輩方や後輩の子と試合をしたり、応援をしたりすることができて昨年よりも更に楽しいスポーツ大会になったと感じました。知らない人にでも応援する姿や失敗してもお互いに励ます姿が見られて嬉しかったです。このスポーツ大会を通して、友達や先輩、後輩の普段見られない姿を見て、お互いの絆を深めることができたと思います。これからの行事でも学年を超えた関わりを増やし、更に加納高校を盛り上げていきたいです。

